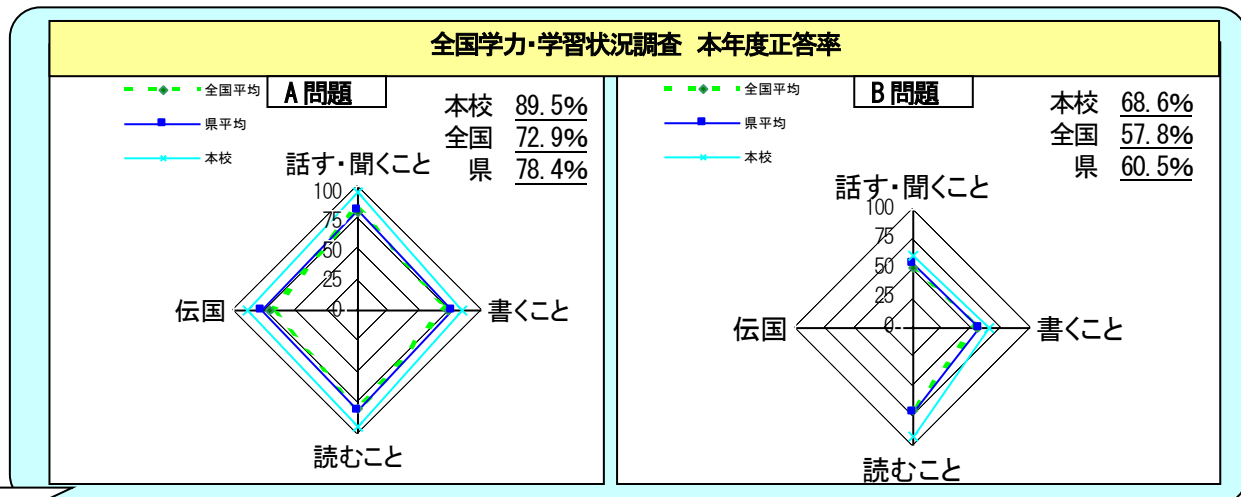
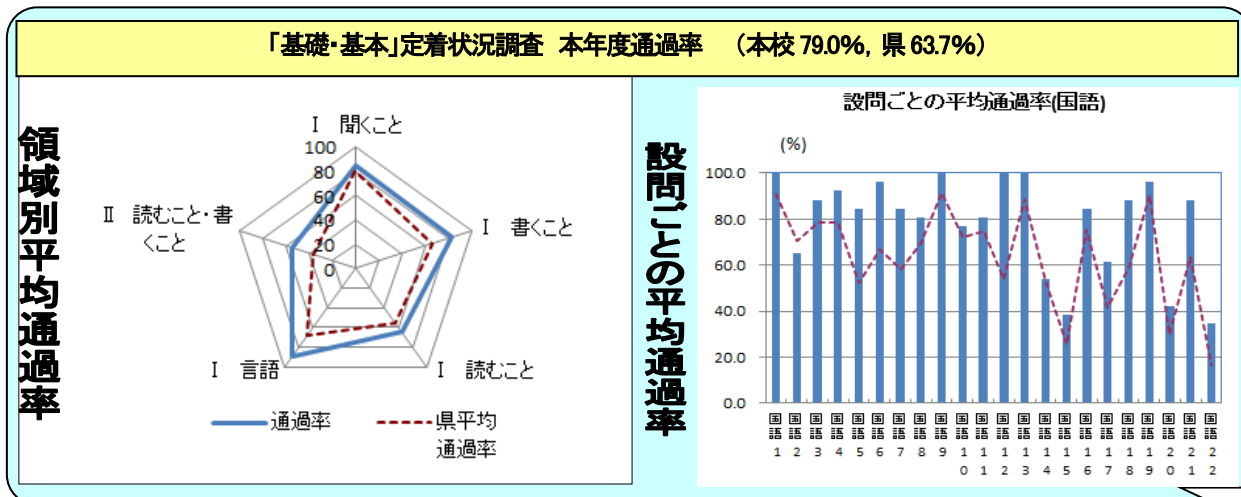


指導方法等の改善計画について〔国語〕



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎ タイプII「情報を取り出し、理由や事例を挙げた記述」をする問題で、通過率が34.6%であった。条件に応じて複数の資料から必要な情報を取り出し、それらに関連付けて論理的に説明することに課題がある。

◇A ローマ字で表記されたものを正しく読むことができない。(正答率 66.7%)

B グラフを基に分かったことを的確に書くことができていない。(正答率 38.1%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

◎ 文章と図表などを関連付けて自分の考えをまとめる学習を仕組む。その際、必要な言葉や数字に着目させる。社会科や総合的な学習の時間などでも国語科での学びを生かして、図表やグラフなどの資料を活用して自分の考えを文章に書く活動を取り入れる。

◇A ローマ字の規則性を押さえ、他教科等でコンピュータを使った学習と関連付ける等して、繰り返し書いたり読んだりする機会を増やす。

B 一つのグラフを取り上げて全体的な特徴や変化の特徴を捉える学習、複数の図表やグラフを比較したり関係付けたりする学習等を通して、読み取ったことを的確に表現することができるように指導する。

※ 収集した複数の資料から目的や必要に応じて情報を取り出し、整理・分析して、表現する学習活動を仕組む。(小中一貫)

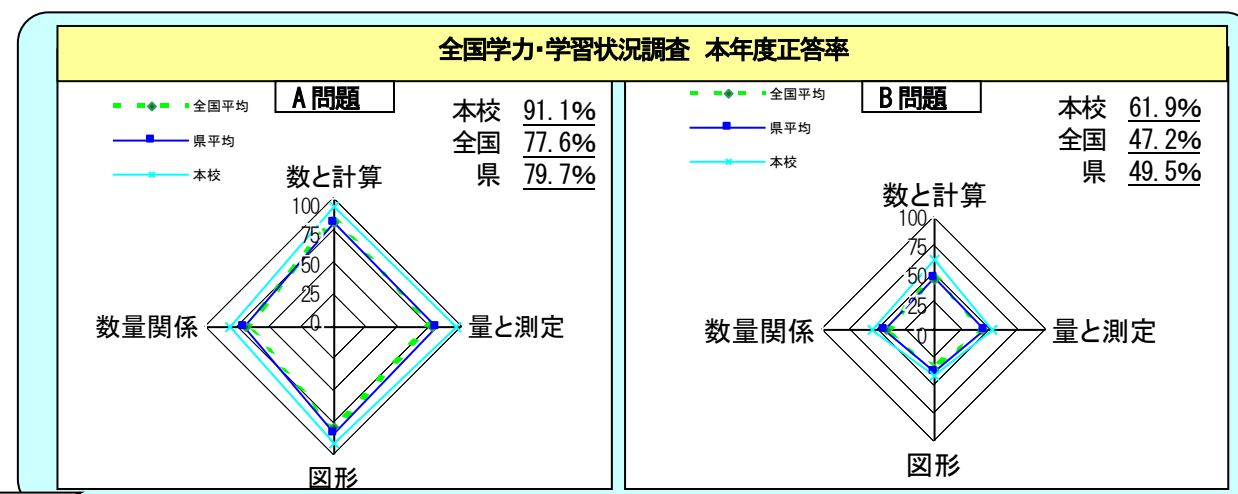
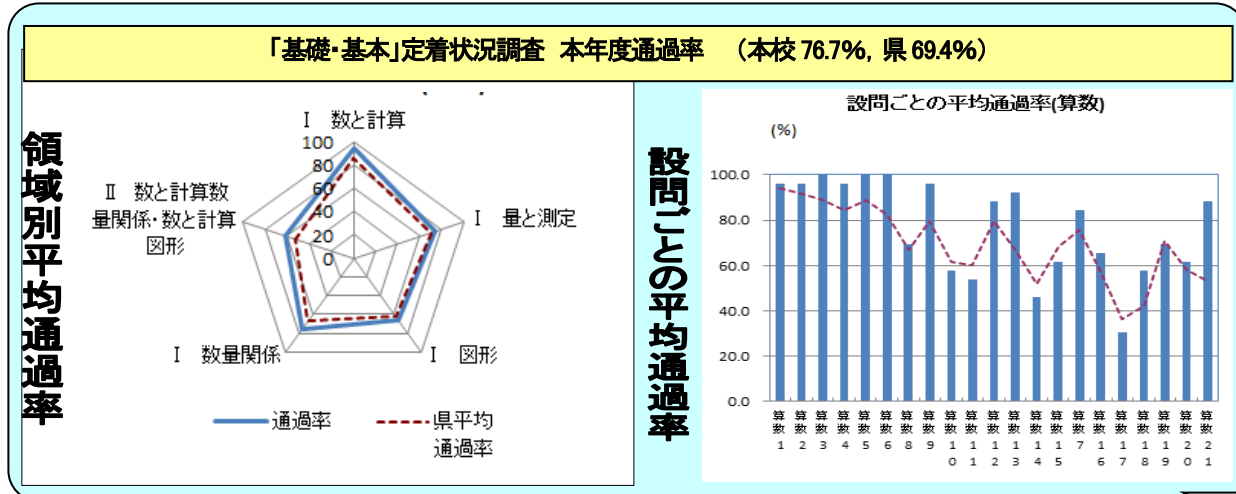
◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				全学年 学期末テスト	全学年 標準学力調査	4年 H28「基礎・基本」	全学年 学年末テスト
目標値				60%以上 85% 30%未満 0	全国平均正答率を3 ポイント上回る	75.0%	60%以上 85% 30%未満 0
実施後数値				60%以上 98.4% 30%未満 0	全国平均正答率を 12.1ポイント上回る	64.5%	60%以上 99.0% 30%未満 0

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				全学年 学期末テスト	全学年 標準学力調査	5年H28「全国学力・学習状況調査」 A・B問題	全学年 学年末テスト
目標値				60%以上 85% 30%未満 0	全国平均正答率を3 ポイント上回る	A80.0% B60.0%	60%以上 85% 30%未満 0
実施後数値				60%以上 98.4% 30%未満 0	全国平均正答率を 12.1ポイント上回る	A87.5% B62.0%	60%以上 99.0% 30%未満 0

来年度に向けて

- 問題文に即して、必要な情報を選択し、適切に記述する回答の仕方を指導する。
- 語彙力を付けるため、国語辞典を活用した指導を行う。

指導方法等の改善計画について〔算数〕



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎ タイプII「折れ線グラフと棒グラフの関連付け」を考える問題で、通過率は57.7%であった。折れ線グラフ、棒グラフの一方についての記述しかなかったり比較する月を記述していなかったりしており、2つのグラフの特徴や傾向を読み取ることに課題がある。

◇ A 1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係が理解できていない。(正答率 66.7%)

B 示された形をつくることができることを説明する式の意味を、数や演算の表す内容に着目して記述することができていない。(正答率 14.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

◎ 一つ一つのグラフの数値を読み取り、複数のグラフを関連付けて考えさせる。複数のグラフから読み取ったことを数値や算数用語を使って説明(記述)する指導を行う。スキルタイムを活用して、複数のグラフ等の資料を関連付けて考える問題に取り組ませる。

◇ 図と式を関連付けて式の意味を考え、図形の構成要素に着目して考えた結果を説明する指導を行う。授業の中で互いに自分の考えを表現し合う場を設定する。

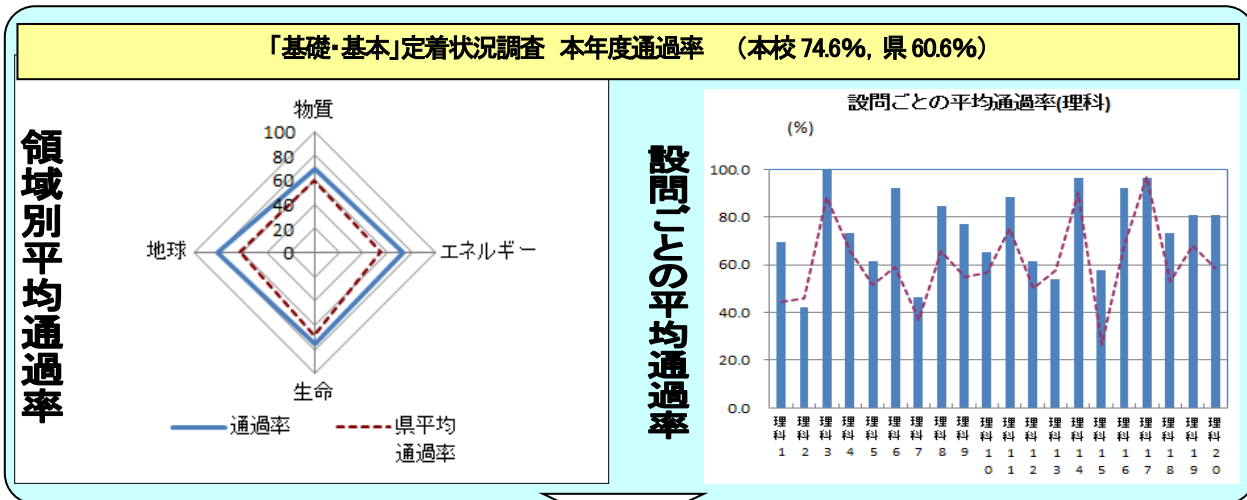
※ 複数の資料を関連付けながら、数量の関係を捉え、教科の用語や数値を用いて説明(記述)させる指導を行う。また、資料から内容や数値を深く読み取り、課題を解決していく場面を設定していく。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				全学年 学期末テスト	全学年 標準学力調査	4年 H28「基礎・基本」	全学年 学年末テスト
目標値				60%以上 85% 30%未満 0	全国平均正答率を 3ポイント上回る	75.0%	60%以上 85% 30%未満 0
実施後数値				60%以上 97.0% 30%未満 0	全国平均正答率を 11.6ポイント上回る	62.7%	60%以上 97.0% 30%未満 0

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				全学年 学期末テスト	全学年 標準学力調査	5年H28「全国学力・学習状況調査」 A・B問題	全学年 学年末テスト
目標値				60%以上 85% 30%未満 0	全国平均正答率を 3ポイント上回る	A80.0% B60.0%	60%以上 85% 30%未満 0
実施後数値				60%以上 97.0% 30%未満 0	全国平均正答率を 11.6ポイント上回る	A75.0% B51.7%	60%以上 97.0% 30%未満 0

来年度に向けて

- 基礎的・基本的な問題の定着を図る。
- 記述式の問題では、結論や用語を意識して、思考・表現させる指導をする。



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

◎① 「物の重さと体積の関係」の問題の通過率が42.3%であり、課題がある。

◎② 「物質の磁石と電気に関する性質」の問題の通過率が46.2%であり、課題がある。

①②共に、2つの関係が複合的に絡み合った事象を科学的に考えることに課題がある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

◎ 個々の事象や性質について課題意識をもたせ、見通しをもった観察や実験を行わせ、実感を伴った理解を図る。さらに、結果を整理し、個々の事象を相互に比較・関係付けて考察させる中で、問題解決につながる科学的な見方や考え方を育てる。

※ 課題意識をもたせ、視点を絞った観察や実験に主体的に取り組ませ、簡潔な文章で自分の考えをまとめたり、生活と関連した振り返りをしたりする習慣の定着を図る。そのことから、日常的な自然現象について理由を考え、科学的な用語や図を使って説明できるようにさせる。

◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3～6学年 学期末テスト		4年 H28「基礎・基本」	3～6学年 学年末テスト
目標値				60%以上 85% 30%未満 0		75.0%	60%以上 85% 30%未満 0
実施後数値				60%以上 100% 30%未満 0		62.5%	60%以上 100% 30%未満 0

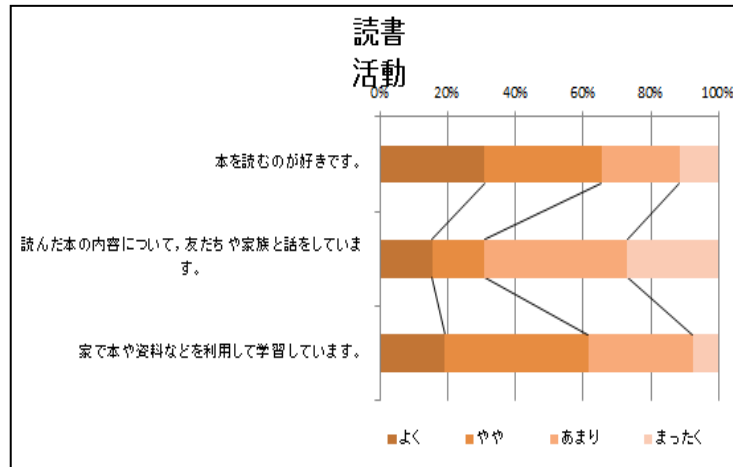
◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3～6学年 学期末テスト		4年 H28「基礎・基本」	3～6学年 学年末テスト
目標値				60%以上 85% 30%未満 0		75.0%	60%以上 85% 30%未満 0
実施後数値				60%以上 100% 30%未満 0		62.5%	60%以上 100% 30%未満 0

来年度に向けて

- 実験や観察を通じた実感を伴う理解をさせる。
- 実験結果を、絵・表やグラフなどで表現させ分析する力を身に付けさせる。
- 日常生活の自然現象について、理由を考え説明できるようにさせる。

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）

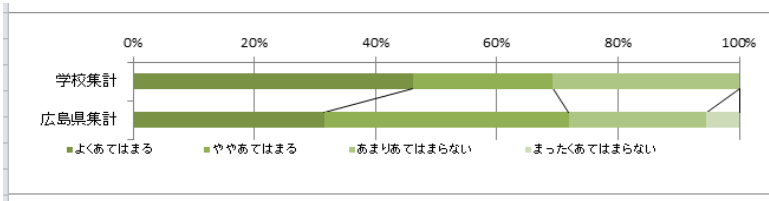
(1) 生活・学習



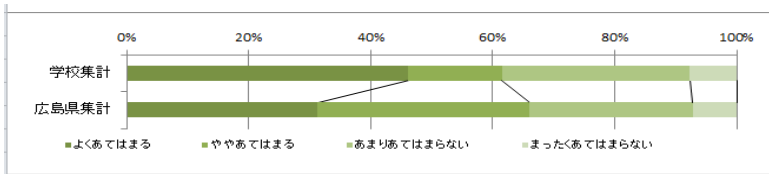
	児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	「読んだ本の内容について、友だちや家族と話をしています。」という質問に肯定的な回答をした児童の割合が少ない。（現状値 30.8%）現状値を高くする必要がある。	はらどく（読書の記録）の活用を意識付け、学級懇談会や通信などを通して家庭での読書の推進を図る。ビブリオバトルなど、おすすめの本を楽しく交流する取り組みを行う。	5	80%	児童アンケート調査 読書カード	2月	100%	69.2%
全国	「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい。」と答えた児童の割合が多い。（現状値 57.1%）現状値を低くする必要がある。	単元の中で、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりする場を意図的に設定する。また自信がもてるような評価を工夫する。	6	30%	児童アンケート調査 マイスターカードの記述	2月	10.0%	47.1%

(2) 教科

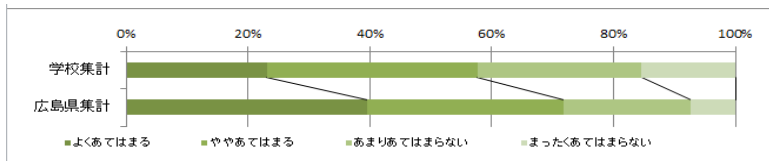
国語の授業では、伝えたいことの内容をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いています。



算数の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。



	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本	「国語の授業では、伝えたいことの内容をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いています。」に対する肯定的な回答が他の項目に比べて低い。（69.2%）	5	75%	児童アンケート調査	2月	100%	30.8%
国語	全国	「国語の授業で意見などを発表する時、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。」に対する肯定的な回答が他の項目に比べて低い。（80.9%）	6	90%	児童アンケート調査	2月	85.0%	4.1%
算数	基礎・基本	「算数の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。」に対する肯定的な回答が他の項目に比べて低い。（61.5%）	5	75%	児童アンケート調査	2月	88.9%	27.4%
算数	全国	「算数の授業で問題を解く時、もっと簡単に解く方法がないか考える。」に対する肯定的な回答が他の項目に比べて低い。（90.5%）	6	95%	児童アンケート調査	2月	100%	9.5%
理科	基礎・基本	「理科の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。」に対する肯定的な回答が他の項目に比べて低い。（57.7%）	5	75%	児童アンケート調査	2月	100%	42.3%